

町民からの要望に対する回答

担当課： 建設課

区 分	件 名	回 答
除排雪	太美は2月で排雪が 終わったが、本町では 3月まで排雪してい たのは何故か。	<p>生活道路の排雪として回答いたします。</p> <p>平成27年度については、道路の積雪状況により、本町地区は1月19日から、太美地区は2月3日からそれぞれ排雪作業を行いました。1回目の作業の中で早い時期に排雪を終えた地区において追加の排雪作業が生じたため、雪対策町民協議会の了承を得た上で本町の一部地区において排雪を実施しております。</p> <p>そのため、本町地区と太美地区において時期（期間）の違いが生じております。</p>

町民からの要望に対する回答

担当課： 農 林 課

区 分	件 名	回 答
農地転用	樺戸のローソン用地の農地転用は、町の農産物のPRの為と聞いているが、検証しているのか。	<p>今年で9年目になる軽トラマーケットは、町内外で少しずつ当別町農業の知名度を上げ、消費者からの期待の言葉は生産者の活力になっている。その反面、軽トラックで出向き長時間拘束される軽トラマーケットは、労働力不足が広がる中、生産者には負担が大きく、出店数を維持する事が困難な状況でもあります。</p> <p>農畜産物の販売拠点・情報発信拠点の樺戸町にあるローソンでのPR活動は、上記要因もありますが当初の計画出店数を下回りながらも昨年は、45万円程度売上げがあり、3年連続売上を上げているところです。</p> <p>しかしながら、今後、道の駅がオープンすると今以上に生産能力が求められますので、町内の販売・情報発信拠点における農畜産物のPR手法などに関しては、検討改善する必要があると考えております。</p>

町民からの要望に対する回答

担当課： 農 林 課

区 分	件 名	回 答
農地転用	<p>樺戸のローソン用地の農地転用は、町の農産物のPRの為と聞いているが、検証しているのか。</p>	<p>今年で9年目になる軽トラマーケットは、町内外で少しずつ当別町農業の知名度を上げ、消費者からの期待の言葉は生産者の活力になっている。その反面、軽トラックで出向き長時間拘束される軽トラマーケットは、<u>労働力不足が広がる中、生産者には負担が大きく、出店数を維持する事が困難な状況でもあります。</u></p> <p>農畜産物の販売拠点・情報発信拠点の樺戸町にあるローソンでのPR活動は、上記要因もありますが当初の<u>計画出店数を下回りながらも昨年は、45万円程度売上げがあり、3年連続売上を上げているところ</u>です。</p> <p>しかしながら、今後、道の駅がオープンすると今以上に生産能力が求められますので、町内の販売・情報発信拠点における<u>農畜産物のPR手法など</u>に関しては、<u>検討改善する必要がある</u>と考えております。</p>
	<p>参考【実績】 計画6回⇒3回、 軽トラ10台⇒3台 H25 (214千円) ⇒H26 (259千円) ⇒H27 (449千円) 店内販売実績未把握</p>	
	<p>参考【課題】 大型拠点（道の駅）などのポテンシャルに負けないよう農畜産物の生産力アップが必要となるため、軽トラマーケットの手法、体制を含め検討しなければならぬ。 場合によっては当初の目的が達成できなくても、当別町10年ビジョンの目標達成のために樺戸での情報発信活動を縮小することも視野に検討。</p>	

町民からの要望に対する回答

担当課： 農 林 課

区 分	件 名	回 答
その他	・T P Pでどういう影響を受けるのか。土地改良区に予算がつくとの話もあるが、よくわからない。T P Pについての説明会をしてほしい。	<p>T P Pの農業への影響については、関税削減等の影響で農産物価格が低下し、生産額の減少が懸念されていますが、国は、生産コスト低減・品質向上や経営安定対策等により農家所得は確保され、国内生産量が維持されるものと見込まれるとしています。</p> <p>国は、27年11月に決定した「総合的なT P P関連政策大綱」に基づき、27年度補正予算においてT P P関連予算を措置しており、その中には土地改良区の事業に関連する農業農村整備事業に係る予算が盛り込まれています。</p> <p>T P Pの説明会については、T P Pは対象が広範囲で、専門的であることから、国の機関に要請することが適当と思われるので、ご相談ください。</p>